

府運陸交第480号
令和6年8月29日

管内法人タクシー事業者 各位

内閣府沖縄総合事務局
運輸部長

イベント開催時における自家用車活用事業の使用可能時間帯等について

一時的に移動需要が大きくなる傾向があるイベントの開催に伴い多くの来場者が見込まれ、イベント主催者又はイベント開催地周辺自治体から、使用可能時間帯の拡大及び使用可能車両数の増加を求める旨の要請書が提出された場合の取扱については、下記のとおりとする。

記

(1) 対象地域

自家用車活用事業が導入されている地域。

(2) 使用可能時間帯

イベント主催者又は開催地周辺自治体から要請された時間帯。(※)
※複数日に渡り開催されるイベントについては、原則として当該イベント開催期間内において一時的な需要の増加が見込まれる時間帯に限り使用可能とする。

(3) 使用可能車両数

イベント主催者又は開催地周辺自治体からの要請書に記載されている不足車両数の範囲内において陸運事務所が認める数。

(4) 要請書に記載する事項

イベント主催者又は自治体から提出される要請書には、下記事項の記載を求めることとする。

- ①イベント名
- ②開催日時・期間
- ③開催場所
- ④車両の不足が見込まれる時間帯
- ⑤不足車両数及び算出根拠

(不足車両数算出の例：イベント予想動員数に開催地域におけるタクシーの分担率を乗じた数値と既存のタクシーによる輸送能力との差を不足車両とする。)

(5) イベント主催者又は開催地周辺自治体が要請に当たって留意すべき事項

イベント主催者又はイベント開催地周辺自治体から、使用可能時間帯の拡大及び使用可能車両数の増加を求める旨の要請書が提出され、当該イベントの開催に際して、交通規制が実施される場合においては、イベント主催者又は開催地周辺自治体は、管轄の警察署と調整する際に、開催地周辺において自家用車活用事業の活用が行われる旨もあわせて情報共有し知いただくよう依頼することとする。

(6) 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会又はタクシー事業者（以下、タクシー事業者という。）による申出

要請を受けたタクシー事業者は、「イベント開催に伴う一時的な輸送需要増加への対応に係る自家用自動車有償運送（自家用車活用事業）の臨時措置申出書」（様式 1）を提出するものとする。

(7) 実施状況の報告

イベント対応を行ったタクシー事業者は、イベント報告様式により記録するとともに、毎月 10 日までに前月分の数値を陸運事務所に報告すること。

以上

年 月 日

陸運事務所長 殿

名 称
住 所
代 表 者 名
担 当 者 名
担当者連絡先

イベント開催に伴う一時的な輸送需要増加への対応に係る
自家用自動車有償運送（自家用車活用事業）の臨時措置申出書

このたび、添付の要請書に記載の通り、イベント開催に伴い一時的な輸送需要が見込まれることから、下記のとおり自家用自動車の有償運送（自家用車活用事業）の使用可能時間帯及び車両数の拡大を行いたいので、関係書類を添えて申し出します。

記

1. 名称、住所、代表者名
2. 運送需要者及びイベント名
3. 開催日時・期間
4. 開催場所
5. 車両の不足が見込まれる時間帯
6. 不足車両数・稼働可能車両数及び算出根拠
イベントにおける不足車両数： 両
申出者の稼働可能車両数： 両
不足車両数の算出根拠：

【添付書類：イベント主催者又は周辺自治体からの要請書】

(算出根拠の例)

イベント動員数 5,000 人×開催地域におけるタクシー分担率 3% (※)－
開催地域におけるタクシー稼働可能車両数 120 両 (※2)＝見込まれる不
足車両数 30 両

※ 分担率はイベント毎、地域毎に算出可能な場合は当該分担率を使用し、
困難な場合は、国土交通省が交通政策白書において公表している全国
の平均分担率を使用する。

(参考：令和 6 年度交通政策白書：

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/content/001748051.pdf>)

※2 開催地域におけるタクシー稼働可能車両数は、イベント主催者が開
催地域におけるタクシー事業者と調整の上算出した数値を記載する。

【イベント報告様式】

事業者名：_____

実施年月	年 月 分
【自家用車】の使用車両数	_____ 両
【自家用車】の使用時間	_____ 時間
【自家用車】の実車回数	_____ 回
【タクシー】当月の日車営収	_____ 円
【タクシー】前年同月の日車営収	_____ 円